

# 令和3年度事業報告書・決算書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

公益財団法人福島県観光物産交流協会

# 令和3年度事業報告

## I 事業概要

当協会は、国内外からの観光客の誘致促進、福島県産品の開発支援や販路の拡大及び観光・物産関係施設の整備運営を行うなど、観光・物産振興の総合的・一体的な展開を図り、もって本県の地域経済社会の活性化と多様な交流の拡大及び観光立国の推進に寄与することを目的に事業を実施している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により一部施設の休館、ツアーの中止、県外でのPR活動の自粛等の影響を受けたが、県や市町村、関係団体と連携しながら公益法人として各種事業を展開し、県内観光と県産品の振興に努めた。

**観光振興事業**については、新型コロナウイルス感染症の動向等に留意し、オンライン等の手段を積極的に活用しながら、本県の強みである自然、温泉、歴史、そして日本酒を始めとする食、伝統工芸品などの魅力を活かし、地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携しながら誘客促進に努めた。

**国内誘客**の推進については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光需要の落ち込みに対応するため、県からの受託事業として県民割プラスを実施し、約45万人泊、総額約30億円の宿泊助成と約9億円の特典クーポンの配布を行った。

また、感染拡大防止対策やワーケーション等の新たな需要獲得に取り組む宿泊事業者を支援するため、1,950件、総額約18億円の補助金の支給を行った。

その他、ホームページや季刊観光情報誌等による本県の魅力の発信、専門家派遣による地域の観光コンテンツのブラッシュアップ、マイクロツーリズムの推進や福島県版DMP（データマネジメントプラットフォーム）の構築等、ウィズコロナを見据えた観光振興の取組を実施した。

**教育旅行**については、例年実施している誘致キャラバンをオンラインにより実施するとともに、県外の教育旅行関係者と県内旅行先をつないでオンラインモニターツアーを実施するなど、感染症の状況を踏まえた教育旅行のPRと誘致促進に努めた。

また、スポーツ・文化合宿の誘致を図るための受入窓口強化や、SDGsに対応した探究プログラムの造成等を実施した。

**海外誘客**については、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、地域との連携による訪日観光客向けのコンテンツの整備を進め、着地型観光販売サイトへの掲載を行うとともに、地域通訳案内士や地域の核となるプレーヤーの育成に取り組んだ。

また、海外誘客外国人専門員による外国人目線での観光素材の掘り起こしや、多言語サイトFukushima Travelをはじめ、FacebookやInstagramによる情報発信を行った。

**ホープツーリズム**については、教育旅行と企業等研修を中心としてツアーの造成、販売、催行を行うとともに、当協会がランドオペレーターとして旅行会社と連携しながらツアーを実施した。

また、ツアー参加者との対話を行うヒューマンの新規確保や、フィールドパートナーの人材育成、宿泊や食事などを提供する施設との連携枠組みの拡大等により受入体制の強化を図った。

令和3年度上半期においては、本県へのまん延防止等重点措置の発令等の影響により、ツアーのキャンセル、延期が多数発生したが、10月以降は順調に実績を伸ばし、最終的には当協会及び旅行会社において販売したツアーは、51件、2,886名となり、ツアー者数は前年度の約3倍となった。なお、コンテンツや伝承館プログラム等への人材派遣等を含むホープツーリズム全体では、141件、9,848名の参加実績となった。

**県産品振興事業**については、アンテナショップ（福島県観光物産館・大阪サテライトショップ・日本橋ふくしま館）への来館者に県産品の魅力発信と販売促進を図ったほか、流通業者や消費者からの情報を事業者・生産者へフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。また、BtoB型（企業間取引）の卸売事業を進めたほか、令和3年9月1日にオンラインストア「ふくふくマルシェ」を開設し、県産品の県外等への流通促進や販路拡大を図った。

**福島県観光物産館**は、コロナ禍での県産品の流通促進を図るため、季節や客層に応じて商品の品揃えを工夫するとともに、新聞折込チラシ等により話題商品の紹介等を積極的に行い、地元客向けの商品充実を図った結果、売上額は752百万円（税抜）となり、オープン以来最高となった。

**日本橋ふくしま館**は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の発出により臨時休館等の対応に迫られたものの、売上額は341百万円（税抜）と前年度を上回った。前年度に実施した経営診断に基づき経営改善計画を策定し、適切な運営に努めるとともに、首都圏において、優れた県産品の魅力を始め、本県の観光情報、定住・二地域居住情報、復興へ向かう「ふくしまの今」を総合的・継続的に発信し、県産品の風評払拭と販路拡大、観光誘客を図った。

外販については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中央官庁をはじめ関係団体と連携したマルシェ等が中止となるなか、企業単位での予約注文の受注や新たなECサイト「ミデッテオンラインストア」の開設、近隣の飲食店を対象とした日本酒や食材の配達等を行い、県産品の販売促進に取り組んだ。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、日本橋ふくしま館においては延べ34日間、大阪サテライトショップでは84日間の臨時休館となった。

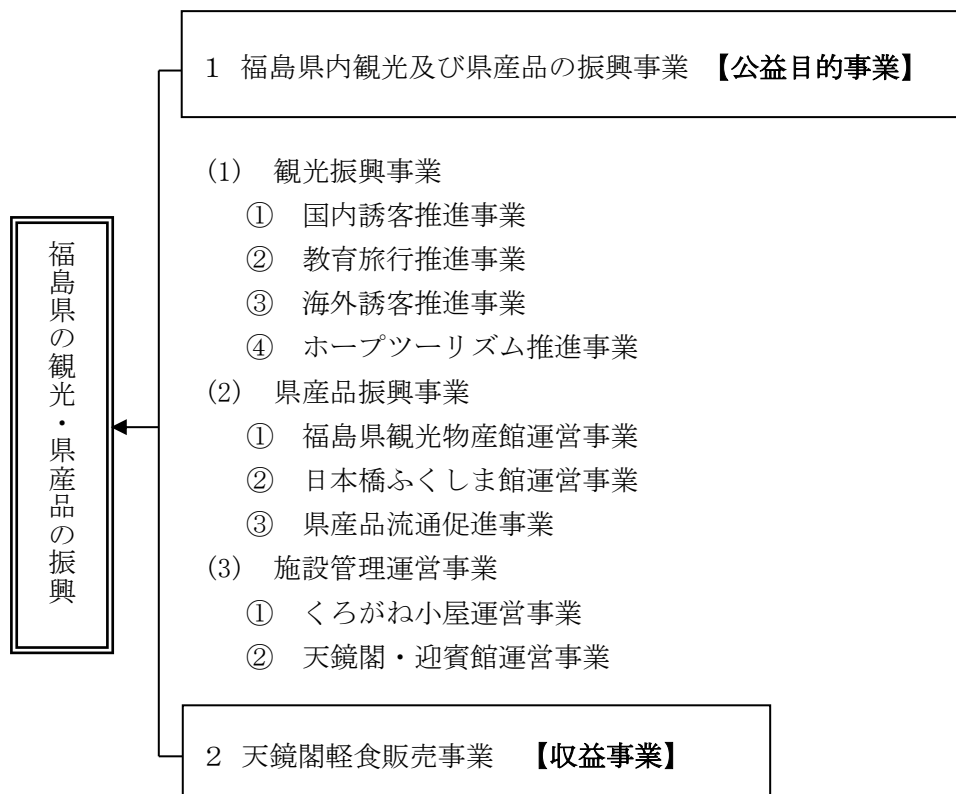
**県産品流通促進事業**については、物産展事業では、東北各県や全国の観光物産協会等との連携のもと、全国主要都市において観光物産展や地下催事をはじめ、新型コロナウイルス感染症に対応したEC物産展を開催し、本県の優れた県産品のPR及び販路拡大とともに観光客の誘致促進を図った。

卸売事業では、県外を中心に福島の酒等県産品の営業活動を積極的に行い販売促進を図ったことにより、卸売額は76百万円（税抜）となり、当該事業を開始した令和元年度に比べ、卸売額は4.4倍に増加した。

**くろがね小屋運営事業**は、宿泊施設として新型コロナウイルス感染症対策に努めながら施設の適切な管理運営を行うとともに、建替え工事に伴い令和5年3月末で営業を休止するため利用者への周知を行った。

**天鏡閣・迎賓館運営事業**についても、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら施設の適切な管理運営を行うとともに、各種イベントの開催、オンライン旅行商談会等による誘客活動を行い来館者確保に努めた。

## II 事業体系



## III 事業実績

### 1 福島県内観光及び県産品の振興事業【公益目的事業】

#### (1) 観光振興事業

本県への観光客の誘客に向けて、以下のとおり事業を行った。

特に、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の動向等に留意し、オンライン等の手段を積極的に活用しながら、本県全域を対象とする地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携し、国内誘客、教育旅行、海外誘客、ホープツーリズムの4つの柱により事業を展開するとともに、地域が主体となった観光地域づくりを推進した。

#### ① 国内誘客推進事業

##### ア 観光地域づくり総合推進事業

###### (ア) 観光コンテンツブラッシュアップ支援事業

- 対象地域6か所（北塩原村・猪苗代町、いわき市、相馬市、二本松市、田村市、玉川村）を採択した上で、アドバイザーの派遣、先進地視察、ワークショップの実施等により観光コンテンツの磨き上げを行った。

- ・ 磨き上げを実施したコンテンツ 21件

###### (イ) 域内観光モデル創出事業

- 近隣地域内の観光（マイクロツーリズム）の福島県版モデルを創出しコロナ禍を

踏まえた新しい観光スタイルの確立を目的として、対象地域2か所（相馬市、二本松市）において、ターゲットの明確化、観光スポットの掘り起こし、モニターツアーの造成等を行った。

- 対象地域のモデルルート、観光スポットをオリジナル小説及びショートムービーにまとめ、特設WEBサイト及び公式インスタグラム「あしたの散歩帖」において紹介した。
- 県内の観光人流動向調査等を実施し、県民割プラスによる効果を踏まえたデータの収集、分析、検証等を行った。
- (ウ) 観光情報総合発信事業
  - 福島県版DMP（データマネジメントプラットフォーム）を構築し、当協会のホームページや実施したプロモーションのデータ、全国の宿泊実績データ等を格納するとともに、GPSデータやSNS解析データ等を用いた観光客の動態分析調査を実施した。
  - 当協会においてデジタルマーケティングを実践できる人材を育成するため、専門講師の招聘により下記の講座を開催した。
    - ・ デジタルマーケティング人材育成講座 全7回開催及び実践課題
    - ・ ライティング人材育成講座 全3回開催及び実践課題
    - ・ プレスリリース人材育成講座 全3回開催及び実践課題

## イ 「福が満開、福のしま。」福島県観光情報総合発信事業

本県観光情報の取りまとめや情報収集を行い、年間を通じた情報発信を行うため、ホームページ「ふくしまの旅」の管理運営及び季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」を発行するとともに、県内外のイベントに出展した。

- (ア) 「ふくしまほんものの旅」の発行
  - ・ 秋・冬号（8月）7.5万部 JR版 5万部
  - ・ 春・夏号（2月）7.5万部 JR版 5万部
- (イ) 「ふくしまの旅」 延べビュー数 30,891,855pv  
(前年同期 30,525,038pv)
- (ウ) Twitter（ツイッター） ツイート数 2,956回、フォロワー13,389名  
フォロワー数が昨年度同時期から約2.5倍の増となった。  
また、令和4年7月にフォロワー1万人達成を記念してツイッター上でのフォロワーとの交流イベントを実施した。
- (エ) Instagram（インスタグラム） 投稿回数141回、フォロワー4,760名  
昨年度同時期から約2倍の増となった。
- (オ) イベント出展 5回

### 【主なイベント】

- ・ くみに道の駅大交流フェスタ（R3.10.23～24）  
道の駅国見あつかしの郷（国見町）
- ・ 冬スポ WINTER SPORTS FESTA シーズン 21 in さいたまスーパーアリーナ  
（R3.11.12～14）さいたまスーパーアリーナ（埼玉県）

## ウ コンベンション開催支援事業

県の「コンベンション開催支援事業」の事務局を受託運営するとともに、広告チラシの作成及びWEBページの作成・運営を行った。

- 年度内に開催されるコンベンションについて受付した件数  
受付件数 6件（うち3件中止）、延べ宿泊者数 787名、  
助成金額 1,100千円（交付決定は県実施）  
（前年度受付件数4件、497名、600千円）
- 東京都において営業活動を実施（令和3年11月24、25日）

## エ ワークーションを活用した観光支援事業

新型コロナウイルス感染症により注目を集める新たな就業形態「ワークーション」に焦点を当て、ワークーションに関心の高い地域からモデル地域を3か所選出し、各地域の受入環境整備とプロモーションの取り組みに関し支援を行った。

### (ア) ワークーションモデル地域

- 磐梯熱海温泉（採択団体：磐梯熱海温泉旅館協同組合）  
環境整備：「萩姫の湯栄楽館」「深山荘」の2施設  
モニターツアー：2回 計10名参加  
取組内容：セミナーの開催、モニターツアー参加企業への営業活動
- 喜多方市（採択団体：喜多方観光物産協会）  
環境整備：小田付地区にワークーションのハブとなる施設を整備  
モニターツアー：2回 計11名参加  
取組内容：セミナー等の開催、企業及び団体への営業活動
- 北塩原村（採択団体：北塩原村）  
環境整備：五色沼入口観光プラザ、裏磐梯物産館へWi-Fi整備  
モニターツアー：1回 計17名参加  
取組内容：セミナー等の開催、商談会、展示会等による営業活動

### (イ) 宿泊施設における環境整備

上記のモデル地域内において、1施設あたりの補助上限を20万円、補助率10/10として施設内のWi-fiやエアコンの設置等、ワークーション環境の整備に対する支援を行った。

- ・支援施設数：52施設

## オ ふくしま体験周遊受入体制整備事業

磐梯吾妻スカイラインと、その周辺温泉地及び自然を活用した体験コンテンツのアップグレードのため、ホームページの運営や受け入れ体制の整備を行った。

- ホームページ「やまふく」 延べビュー数 330,449pv  
(前年同期 277,749pv)
- 同エリアの自然体験コンテンツについて専門家による検証を行った。
- 危険箇所を記載したエリアマップを作成した。
- ロングトレイルエリア告知用チラシを作成した。

## カ 福島県観光周遊宿泊支援対策事業（県民割プラス）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内観光業の再生に向け、県内宿泊施設の利用促進と周辺観光関連事業者の需要拡大を図るため、県内宿泊者1人1泊あたり最大1万円の支援及びクーポン券2千円（500円券×4枚）の配布を行った。

### 【事業の経過】

- 令和3年9月28日 事業開始発表  
令和3年10月1日から予約受付開始、10月4日から宿泊助成適用  
公式サイト、専用システム（STAYNAVI）、コールセンター等の運用を開始
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和4年1月25日より新規予約を停止
- 令和4年3月25日より新規予約を再開
- 事業を令和4年度に繰越の上、令和4年4月1日より岩手県、宮城県、秋田県、山形県、新潟県を助成対象に追加

【令和3年度の実績】 ※精算は令和4年度中となる宿泊分を含む。

- ・ 宿泊クーポン 3,008,384千円
- ・ 特典クーポン 901,508千円
- ・ 県民割利用泊数 450,754人泊

## キ 宿泊事業者感染症対策支援事業

新型コロナウイルス感染症により特に大きな影響を受けている宿泊事業者の事業継続を支援するとともに、誰もが安心・安全に県内を観光できる環境を整備するため、感染拡大防止対策やワーケーション等の新たな需要獲得に取り組む宿泊事業者に対し助成を行った。

また、前年度に類似の補助制度を実施した市町村との差額支給を行うとともに、8月以降は部屋数に応じた補助上限の設定を廃止し、上限額を一律800万円として支給を行った。

### 【事業の経過】

- 令和3年6月21日 事業開始発表
  - 令和3年6月22日～7月30日 第1期受付期間
  - 令和3年8月30日～10月8日 第2期受付期間
  - 令和3年11月15日～令和4年1月14日 第3期受付期間
- ※ コロナ禍で工期・納期が補助対象期間（令和3年12月31日まで）に間に合わない場合、事前の申し出により事業完了期間を令和4年2月10日まで認める例外措置を適用。

### 【支給実績】

- ・ 支援件数 1,950件
- ・ 支援額 1,815,274千円

## ② 教育旅行推進事業

### ア 教育旅行誘致促進事業

#### (ア) オンラインキャラバンの実施

教育旅行誘致キャラバンをオンライン形式とし、旅行会社の教育旅行担当者を対象として23都道府県に対し実施した。

- ・ 対象地域：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、大阪府、奈良県、和歌山県、福岡県、佐賀県、宮崎県、熊本県、鹿児島県
- ・ 実施期間：7月～12月
- ・ 実施回数：17回（東北、関東、関西等のブロックにより実施）
- ・ 参加旅行会社：72支店（128名）

#### (イ) 教育旅行ワンストップ窓口対応

県外の学校の先生や旅行会社等からの問い合わせに対して、相談や案内、資料の送付等の対応を実施した。

- ・ 相談件数：272件（前年度250件）

#### (ウ) 教育旅行入込調査の実施

令和2年度教育旅行入込に関する調査を県と連携して行った。

- ・ 調査対象施設・団体：562件
- ・ 調査協力施設・団体：485件（回答率86.3%）
- ・ 延べ宿泊者数：99,361人泊（前年度516,525人泊）  
（前年度比19.2%、平成21年度比14.0%）
- ・ 学校数：1,823校（前年度6,941校）  
（前年度比26.3%、平成21年度比23.0%）

#### (エ) 教育旅行関係者へのメールマガジンの配信

教育旅行に関する情報をメールマガジンとして編集し、全国の小中高校や旅行会社等に毎月配信した。

- ・ 配信件数：29,908件（前年度29,279件）

#### (オ) 「ふくしま教育旅行」ホームページ運営管理

- ・ ホームページ情報発信件数 45件（前年度36件）
- ・ アクセス数 1,993,023pv（前年度784,761pv）

#### (カ) 教育旅行誘致セミナーの開催

県内教育旅行受入関係者と旅行会社教育旅行担当者とのオンラインを活用した商談会を実施した。

- ・ 実施日：令和4年3月3日
- ・ 内容：ZOOMのブレイクアウトルーム機能を活用し、県内関係者と旅行会社をグループ分けし個別商談会を実施。
- ・ 参加者：旅行会社7社 17支店（23名参加）  
県内関係者 27団体（33名参加）

#### (キ) 東北観光推進機構のセミナー等への参加

- ・ 6月：全国オンラインセミナー（オンライン参加）
- ・ 7月：東北教育旅行セミナー（北海道会場）（オンライン参加）
- ・ 8月：東北教育商談会（東京会場）
- ・ 12月：東北教育旅行セミナー（大阪会場）（オンライン参加）



## イ 教育旅行魅力発信強化事業（教育旅行推進課で実施したもの）

### (ア) 教育旅行モニターツアー

県外の教育旅行関係者を対象としたモニターツアーをオンラインにより開催した。

- ・ 開催日：令和3年10月27日、11月18日、令和4年2月22日
- ・ 中継施設：鶴ヶ城、もくもく自然塾、コミュタン福島、いわき震災伝承未来館、グランデコスノーリゾート、請戸小学校震災遺構
- ・ 対象者：首都圏、近隣県の小・中学校の教職員、九州の高校教職員、旅行会社教育旅行担当者
- ・ 参加校：22校（延べ数）
- ・ 参加者：教員32名、旅行会社8名、県内関係者等55名（いずれも延べ数）

### (イ) SDGs 探究プログラム造成事業

県内で教育旅行を実施する県外の学校向けに、SDGsの視点を取り入れた探究型教育旅行プログラムの造成をするため、勉強会を開催し、新規に33本のプログラムを造成した。また、県内の教育旅行受入施設や企業等のSDGsの取組調査を行うとともに、探究プログラムガイドや学習ノートを制作した。

#### ○ オンライン勉強会を計3回開催

- ・ 開催日：令和3年10月6日、10月29日、11月25日
- ・ 参加者：県内教育旅行受入関係者 74施設 107名（延べ数）  
オブザーバー 35施設 47名（延べ数）

#### ○ プログラム造成、プログラムガイドの作成

合計38プログラム（新規造成33、既存3、ホープツーリズム2）をSDGs探究プログラムガイドにまとめ、情報発信した。

- ・ 会津エリア 11プログラム（新規9、既存2）
- ・ 中通りエリア 20プログラム（新規19、既存1）
- ・ 浜通りエリア 7プログラム（新規5、ホープツーリズム2）

例：Active Resorts 裏磐梯（北塩原村）：ロハス食育環境プログラム

土湯温泉観光協会（福島市）：再生可能エネルギー（地熱発電所）見学ツアー

アクアマリンふくしま（いわき市）：館内学習「きれいな海と生き物を守ろう」

## ウ 合宿の里ふくしま復興事業

受入地域での広域的な誘致の取組を支援するとともに、合宿に関するワンストップ窓口やポータルサイトの運営等を行った。

### (ア) 関係団体への支援内容

#### ○ 南会津エリア <南会津町・下郷町・只見町・桧枝岐村>

窓口：(株)みなみあいづ

内容：パンフレット、WEBサイト、PR動画の作製

#### ○ 二本松エリア <二本松市>

窓口：岳温泉観光協会

内容：パンフレット、WEBサイト、PR動画の作製

#### ○ 郡山エリア <郡山市>

窓口：郡山市観光協会・磐梯熱海観光協会

内容：パンフレット、PR動画の作製、既存WEBサイトへの情報追加

(イ) 合宿の誘致活動

- 福島県総合合宿ポータルサイトの運営  
ポータルサイトにおいて合宿に関する新着情報や関連施設の情報を随時発信。
- 合宿誘致オンラインキャラバンの実施  
対 象：合宿取扱い旅行会社  
実施日：令和4年2月16～17日（オンライン）  
参加旅行会社：9社 13名（東京都、埼玉県、神奈川県、大阪府）  
県内関係者：計14名
- 教育旅行家庭新聞への広告掲載  
令和4年3月21日掲載

エ 教育旅行推進委員会の運営

教育旅行推進委員会を設置し、日頃の教育旅行誘致促進に関する取組や地域の生きた情報を委員と共有することで、県内全域での教育旅行誘致促進を図った。

- ・ 第1回： 7月13日 12名参加 ※県1名
- ・ 第2回：12月 2日 11名参加 ※県1名
- ・ 第3回： 3月23日 12名参加（オンライン） ※県1名

③ 海外誘客推進事業

ア DMOデジタルコンバージョン事業

地域と連携し訪日客向けコンテンツを整備し、多言語WEBサイト「Fukushima Travel」に掲載して試験販売に向けた準備を進めるとともに、各地域において地域通訳案内士の活用や地域の核となるプレーヤーの育成に取り組んだ。

また、新型コロナウイルス感染症に関する衛生対策や新たな旅行トレンド、浜通りの復興の姿などを海外に向けて情報発信した。

(ア) 整備を行ったコンテンツ

コンテンツ名	対象地域	実施主体
笹竹釣り竿体験	相馬市	相馬市観光協会
SUP/カヤック体験	福島市	CHANNEL SQUARE
そば作り体験	下郷町	下郷町観光公社
着物レンタル体験	下郷町	下郷町観光公社
タクシープラン	南会津町	株式会社みなみあいづ
エクストリーム温泉体験	猪苗代町	会津ドリーム開発
ラーメン入門体験	喜多方市	喜多方観光物産協会
オーガニック野菜収穫&クッキング	喜多方市	ホテルふじや
ナイトフードツアー	会津若松市	Magical Trip
うまさんぽ	南相馬市	House Value

(イ) 情報発信

県内の人や特産品に焦点を当て、SNSを活用した外国人目線での情報発信を行った。

- ・ フェイスブック投稿数 152回
- ・ インスタグラム投稿数 166回
- ・ ライブ配信 5回

配信日	内容	視聴者数
4月 9日	鶴ヶ城の紹介と桜	66人
5月 21日	飯坂温泉の紹介	43人
6月 25日	さざえ堂の歴史と紹介	43人
8月 3日	猪苗代ハーブ園の紹介	29人
10月 21日	郡山市安積疎水と観光地の紹介	40人

(ウ) 多言語WEBサイト

多言語WEBサイトについては、ブログ、スポット情報やモデルコース、整備した観光コンテンツ等を掲載し、SNSからのリンクによる誘導や海外旅行会社への発信等を行った。

ビュー数：1,403,754pv

内 訳：英語 1,171,513pv（前年同期 892,117pv）

簡体 134,114pv、韓国 48,365pv、越 43,762pv

## イ 東京都連携 MICE 誘致プロモーション事業

東京都と福島県が令和元年6月6日付けで締結した「都市間連携による MICE 誘致の推進に係る基本協定」に基づき、MICE後にメディアファムトリップを実施し、MICE情報誌、“TTG M i c e”へエクスクーションとしての福島県の魅力に関する記事を掲載した。

(ア) ファムトリップ

日 程：令和3年11月4日～6日

招請者：Ms. Kathryn Wortley (TTGmice 日本特派員)

他、東京都観光財団1名、カメラマン1名随行

行 先：東日本大震災・原子力災害伝承館、請戸小学校、道の駅なみえ等

(イ) 記事掲載

TTGmice “Preserving tradition in Fukushima (福島の伝統を守る)”

## ウ 外国人誘客旅行商品造成支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。

## エ 国際教育旅行等誘致促進事業

防災教育を中心とした教育旅行セミナーを、オンラインにより台湾の3地域で開催した。

また、前年度までに招請した教育旅行関係者に対して、台湾現地窓口の協力を得ながらフォローアップセールスを行った。

(ア) オンラインセミナー

- 台中市：12月7日 13:30～16:00(台湾時間) 参加者 20名  
台中金典酒店 (スプレnderホテル台中)
- 台北市：12月8日 13:30～16:00(台湾時間) 参加者 21名  
台北晶華酒店 (リージェントホテル台北)
- 高雄市：12月9日 13:30～16:00(台湾時間) 参加者 22名  
高雄国賓大飯店 (高雄アンバサダーホテル)

(イ) フォローアップセールス（13校）

- ・ 国立鳳新高級中学校
- ・ 台中市恵文高級中学校
- ・ 国立岡山高級農工職業学校
- ・ 台中市立豊原商業高級中等学校
- ・ 国立中興大学附属台中高級農業職業学校
- ・ 桃園市立桃園高級中等学校
- ・ 国立新竹科学園區実験高級中等学校
- ・ 国立竹山高級中学校
- ・ 新竹国立関西高級中学校
- ・ 台中市新民高級中学校
- ・ 台中市立台中家事商業高級中等学校
- ・ 国立曾文高級家商職業学校
- ・ 国立虎尾高級農工職業学校

**オ 受入環境整備緊急対策事業**

宿泊施設における感染症対策やバリアフリー化を支援する観光庁の事業に対し、県が実施する上乗せ補助金の申請窓口を担った。

- ・ バリアフリー化 5件

**カ SAMURAI SPIRIT TOURISM PR事業**

福島県内に今も受け継がれるラストサムライの精神・文化を体感する旅「SAMURAI SPIRIT TOURISM」等について、東京都オリンピック・パラリンピックを契機とし、イベント出展を通じたPRを実施した。また、海外メディア活用して相馬野馬追に関する情報発信を行った。

(ア) イベント出展

日時：令和3年9月4日、5日

主催：独立行政法人 国際観光振興機構

場所：東京スポーツスクエア 東京都メディアセンター

内容：ブース出展 パンフレット配布（公式サイトよりデータ提供）

(イ) 海外メディアへの記事掲載

在日各国大使館や富裕層向け英字メディア「Tokyo Weekender」11月号記事及び公式Facebookにて掲載した。

発行部数 20,000部（内定期購読者10,000人）

Facebook 閲覧数 18,889回

**キ 国際観光推進委員会の運営**

国際観光推進委員会を設置し、官民一体となった海外向けのプロモーション活動や各種事業を実施し、国際観光の誘致促進等を図った。

- 第1回：令和3年7月13日 参加者13名 ※県1名
- 第2回：令和3年12月2日 参加者9名 ※県2名
- 第3回：令和4年3月 書面会議

**④ ホープツーリズム推進事業**

**ア ホープツーリズム推進事業**

福島でしか実施できない学びのツアー「ホープツーリズム」を核として、県内観光復興の推進を図った。

地域における受入環境を充実させるため、FP（フィールドパートナー）の人材育成やコンテンツの磨き上げを行うとともに、旅行会社との連携を進め、旅行会社専用ホームページへの登録促進、商標を利用したツアーの造成等によりホープツーリズムの利用促進に努めた。

(ア) 人材育成

- ・ FP初任者研修 10月から計14回開催
- ・ FPスキルアップ研修 7月から計8回開催

(イ) 旅行会社との連携、商標の利用

- ・ 旅行会社専用ホームページ  
今年度新規登録件数 132件（前年度累計283件）  
アクセス数 76,130pv
- ・ 問い合わせ件数 341件（電話・メール）
- ・ ランドオペレーター受注件数 20件（2,123名）
- ・ オンライン講話（オンラインホープ） 16件
- ・ コンテンツ（HM・FP）受注件数 13件

(ウ) HM（ヒューマン）、関係機関等との連携

- ・ HMの新規登録数 5名（総登録数48名）
- ・ 地域の受入施設との契約締結数 11施設（運送3件、宿泊3件、食事5件）

**イ 教育旅行魅力発信強化事業**（ホープツーリズム推進課で実施したもの）

(ア) 旅行会社への展開強化のために、ホームページの全面リニューアル、パンフレット等の作成を行った。

- ・ ホープツーリズム総合ガイドブック Ver4 10,000部
- ・ 福島のあの日からいま Ver4 8,000部
- ・ ホープツーリズム SDGs リーフレット データ版
- ・ SDGs ノート データ版

(イ) 教育旅行のモニターツアーを2件、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインに振り替えたモニターツアーを7件実施した。

- ・ 教育旅行2件：鎌倉学園中学校・高等学校、学校法人和歌山大学
- ・ オンラインモニターツアー7件：17校、171名参加（生徒・教員）

**ウ ホープツーリズムツアー販売事業**

(ア) 令和3年度ツアー販売実績（モニターツアーを含む）

	直接取扱		ランオペ		モニター		合計	
	件	人	件	人	件	人	件	人
教育旅行	9	257	15	2,111	2	25	26	2,393
企業・団体研修	20	391	5	102	0	0	25	493
インバウンド	0	0	0	0	0	0	0	0
一般募集企画	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	648	20	2,213	2	25	51	2,886
R2年度 ※参考	18	447	5	440	2	23	25	910

※ランオペ：ランドオペレーター（旅行会社からの手配代行業務）

(イ) 令和3年度コンテンツ・伝承館プログラム販売実績

	コンテンツ		伝承館 PGM		合計		(ア) (イ)の合計	
	件	人	件	人	件	人	件	人
教育旅行	10	937	65	5,657	75	6,594	101	8,987
企業・団体研修	3	90	12	278	15	368	40	861
インバウンド	0	0	0	0	0	0	0	0
一般募集企画	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13	1,027	77	5,935	90	6,962	141	9,848
R2年度 ※参考	12	959	33	1,736	45	2,695	70	3,605

※コンテンツ：学校、団体等に対するHM・FP出張対話

※伝承館 PGM (プログラム)：東日本大震災・原子力災害伝承館の一般研修におけるガイドダンス、フィールドワーク、ワークショップへのFP派遣

(2) 県産品振興事業

① 福島県観光物産館運営事業

常設の展示・販売を行うとともに、8回連続金賞受賞数日本一清酒フェア、開館18周年フェア、ブランド米「福、笑い」フェア、スイーツフェア、市町村関連のイベント、生産者の対面販売を中心とする各種企画催事を開催した。

福島市が新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置区域(8/26～9/23、1/27～3/6)になり、この間、新聞折込チラシの配布ができなかったため、当該期間における売上額に影響があったが、各コーナーにおいて、季節や客層に応じて商品構成を充実拡大し販売商品の品揃えを豊富にするとともに、新聞折込チラシによる話題商品の紹介、ふくしまラウンジにおける新メニューの提供、地元客向けの商品充実を図ったこと等により、観光物産館オープン以来最高の売上となった。

【展示状況】 出品者数 912社 展示点数 約6,500点

【販売状況】 売上額(税抜) 752,560千円(前年度比 101.5%)

販売点数 1,029,504点(前年度比 105.8%)

来館者数 597,550人(前年度比 99.6%)

購買者数 336,878人(前年度比 103.6%)

【大阪サテライトショップ】

売上額(税抜) 6,966千円(前年度比65.6%)

※ 臨時休館：延べ84日(5/6～6/18、8/2～9/30)

ア 自主企画イベント、県内各地域催事等の開催

- ・ 酎プロジェクトスイーツ大集合(4/9～11、4/16～18)
- ・ 大玉村フェア(5/6～9)
- ・ サマーニットフェア(5/27～28)
- ・ 奥会津三島町フェア(6/23～24)
- ・ ふくしま産業賞フェア(6/26～27、12/4～5)
- ・ とうほうマルシェ(7/1～4)
- ・ 18周年フェア(7/17～26)
- ・ 田村市うまいものフェア(7/10～11)

- ・ ふくしまデザインフェア（10/1～30）
- ・ 太っ腹！保原市（10/1～3）
- ・ ふくしまのしょうゆフェア（10/2～17）
- ・ 桑折・国見・川俣こだわりの商品 Threek フェア（10/8～9）
- ・ 飯坂・松川・飯野うまいものフェア（10/23～24）
- ・ あぶくまフェア 2021 in コラッセ（11/19～21、12/17～19）
- ・ 県南販売拡大促進協議会即売会（11/24～25）
- ・ 冬のニットフェア（11/26～28）
- ・ 県北まるごと物産展（12/10～11）
- ・ あだたら商工会物産フェア（1/28～29）
- ・ ふくしまものづくりマーケット（3/11～12）
- ・ 百の幸せの会物産展（3/19～21）
- ・ 奥会津んめえ！すんげえ！まるっと市（3/25～26）

#### イ 新商品・季節イベント企画等の情報発信

チラシの新聞折り込みを月2回、お中元、お歳暮ギフトチラシ各1回、クリスマスケーキ・おせち料理1回実施したほか、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

#### ウ パブリシティを活用した効果的なPR

マスコミに、催事企画・新商品等の話題を提供し積極的に情報発信を行った。

#### エ 事業者・生産者への助言・情報のフィードバック

講演会、研修会、セミナー等に参加し、新商品の開発や普及宣伝、販路開拓・拡大に取り組む事業者等に対して指導・助言などを行うとともに、流通業者や消費者からの意見や情報をフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。

##### 【主な講習会等】

- ・ 「相馬ブランド」認証審査会
- ・ 「田村市ブランド」産品認証委員会
- ・ 県北農林事務所6次化タウンミーティング講師
- ・ 東京農大主催「農業経営セミナー」講師
- ・ 「新しい東北」官民連携推進協議会 オブザーバー
- ・ 小野町産業6次化発酵のまちづくり推進協議会委員 など

#### オ 観光PR

物産と観光の連携を深めるため、観光パンフレットの設置、観光ポスターの掲示のほか、来館者の求めに応じ県内観光の案内を実施した。

#### カ 特定施設県産品選定委員会

特定施設（福島県観光物産館、日本橋ふくしま館）における取扱商品を選定するために「特定施設県産品選定委員会」を開催し、新たに712品目を選定した。

#### キ 県産品復興支援事業（新型コロナウイルス感染症対応緊急雇用創出事業）

県のアンテナショップで販売する新たな県産品の発掘や事業者に対する販売促進の助言、県内外でのイベントにおける県産品販売・商談会への出展支援を通し、県産品の販路回復と販路拡大を図った。（物産館で1名雇用）。

#### ク 新型コロナウイルス感染症対策

- 入館時のサーモグラフィーカメラ、手指消毒、定期的な換気、買い物カゴ等の消毒、行列の間隔の確保など感染防止対策を徹底するとともに、販売スタッフの健康管理（マスク着用、手洗い、うがい、毎日の検温）を徹底した。
- 感染症対策を徹底することで、「ふくしま感染防止対策認定店」として福島県による認証を受けた。

### ② 日本橋ふくしま館運営事業

首都圏における風評払拭・風化防止の最前線として、優れた県産品の展示・販売や生産者による対面販売、県内各観光協会等による各種催事企画を通じて、県産品の安全・安心や県内の震災後の復興状況、観光情報、定住・二地域居住情報等の総合的な情報発信を行い、県産品の販売促進・販路拡大、観光誘客を図った。

また、前年度に実施した経営診断に基づき経営改善計画を策定し、適切な運営に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の影響により、下記のとおり臨時休館及び営業時間短縮を実施した。

- 臨時休館：延べ34日（5/1～6/3）
- 平日の時間短縮（1/8～3/31、閉店時間を20時から19時に1時間短縮）

【展示状況】	出品者数	600社	展示点数	約2,500点
【販売状況】	売上額（税抜）	341,407千円	（前年度比	101.9%）
	店舗	274,828千円	（前年度比	93.4%）
	外販	66,579千円	（前年度比	164.5%）
	販売点数（店舗）	519,113点	（前年度比	96.6%）
	来館者数（店舗）	305,294人	（前年度比	103.3%）
	購買者数（店舗）	147,607人	（前年度比	103.0%）

#### ア 催事の充実

- 旬の農産物や日本酒の販売等により、福島の「今」と魅力を発信した。
  - ・ 開館7周年フェア（4/9～15）
  - ・ 全国新酒鑑評会8回連続日本一の展示販売（6/4～29）
  - ・ さくらんぼフェア（6/18～20）
  - ・ サマーギフト好適品の展示販売（6/30～7/21）
  - ・ 金賞受賞酒飲み比べセット提供
  - ・ オリンピック関連商品の展示販売（7/22～8/8）
  - ・ 桃まつり（7/29～8/1）
  - ・ 新米フェア（8/28～29）
  - ・ 金山赤かぼちゃフェア（9/1～5）
  - ・ ふくしま麺フェア～秋のラーメン編（9/22～11/12）



- ・ 秋の収穫祭（10/8～10）
- ・ 「福、笑い」販売促進キャンペーン（11/13～14）
- ・ 初売り（1/2～3）
- ・ いちご&バレンタインフェア（2/11～14）
- 「首都圏を中心とした県産品風評対策事業」（県事業）により県産品の風評被害の防止、販路拡大を図った。
  - ・ 冬のふくしま常磐もの販売会（①1/14～16 ②2/4～6 ③2/25～27）  
（水産物の販売やシェフのインスタライブ等）
  - ・ みんなのきょうの料理インスタライブ（12/17、3/11）  
（料理家栗原はるみ氏によるライブ配信により福島食材等をPR。）

## イ 店内の充実

- 全国新酒鑑評会8連覇を達成した日本酒や桃などの旬の果物、メディアで紹介された新商品など話題性や時節を活かした商品を品揃えするほか、新商品やスタッフおすすめ品などを店頭やフェイスブック、ホームページ上で積極的に紹介した。
- 店内の導線を見直し、利用者の利便性を向上させるとともに、実演コーナーをおすすめ品コーナーとして活用するなど店内レイアウトの見直しを行った。

## ウ 経営診断に基づく店舗運営

- 効果的な広告宣伝の実施  
年末の特別商品PRのため、都内（千代田区・中央区・台東区の近隣3区）へチラシ3万枚のポスティングを実施した。  
また、県の風評払拭事業の委託を受け、雑誌等での情報発信を実施した。
- 買い場づくり視点での店舗運営  
レジ横に安価な菓子類などを配置し、「ついで買い」を促すとともに、赤べこガチャについて興味を持ってもらえるようレジ待ちの列の方に配置した。  
また、プライスカードやPOPの見直し、飲み比べセットの器に会津本郷焼を使用するなど、買い場づくり視点での店舗運営を実施した。  
さらに、首都圏を中心とした県産品風評対策事業（県事業）により実施した「水産フェア」においてアンケートを実施したところであり、今後も時機を捉えてアンケートの実施などによりお客様の声を店舗運営に反映させていく。
- 事業者へのフィードバック  
双葉町の復興ランタンやアロマオイルを販売する「会津香りプロジェクト」など新たなテストマーケティング的な催事も含め事業者による催事を実施した。  
また、商品の発注書に商品の評判など生の声を記載するなど、お客様の生の声を事業者へフィードバックした。
- 人材育成  
福島ファンやリピーター獲得を図るため、全職員を対象に外部講師による接客研修を実施（1月20日）し、職員の接客に関する意識とスキルの向上を図った。  
なお、職員の県産品に係る知識の習得と新商品の発掘を図るため、福島現地研修を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により実施を見送った。

- 人件費抑制  
業務の効率化等により超過勤務の縮減に向け取り組んだ。  
また、定年退職等による組織の新陳代謝により、人件費の抑制を図った。
- 首都圏における福島コミュニティへの貢献  
東京福島県人会によるミデッテ談話会を開催するなど首都圏における福島コミュニティへ貢献した。

## エ 販路開拓（外販）

新型コロナウイルス感染症の影響により省庁マルシェ等、外販をほとんどできなかったが、企業単位での予約注文の受注や県産品カタログによる通信販売、新たな EC サイト「ミデッテオンラインストア」の開設、「おうちソクたび」との連携、近隣の飲食店を対象とした日本酒や食材等の配達を行い、県産品の販売促進に取り組んだ。

### 【主な取組み】

- 外販実績 32 箇所、延べ 84 日（前年度対比 +15 箇所、延べ +50 日）
- 県産品カタログ等による通信販売（特撰カタログ：78 件、埼玉県庁：97 件、  
㈱東光高岳株主優待：751 件、）
- おうちソクたび（Orange(株)）と連携し、コロナ禍において自宅に居ながらにして旅行気分を味わえる企画参加者に県産品詰合せを配送
- 城南信用金庫「お取り寄せガイド」と連携し、職員からご当地ポテトチップセット販売の注文を受付
- 埼玉県広報誌へ広告掲載し埼玉県民向けに桃の注文を受付
- 新たな EC サイト「ミデッテオンラインストア」を開設  
（7/22～ 注文数 1,004 件）
- 福島のうまい米プレゼントキャンペーン景品の発送
- 福島フェスと連動したふくしまの酒 ONLINE 乾杯キャンペーンの配送
- ふくしまの酒まつり in ニュー新橋ビルの参加店舗へ日本酒を配送
- 第 5 回がんばっぺ福島応援の集いにおける日本酒配送

## オ 事業者へのフィードバック

- 商品開発の一助にしてもらうため、商品の首都圏での評判などを随時生産者や事業者へフィードバック（商品の発注書に商品の評判など生の声を記載）した。
- 双葉町の復興ランタンやアロマオイルを販売する「会津香りプロジェクト」など新たなテストマーケティング的な催事を実施した。

## カ 誘客・情報発信

- ミデッテファンクラブ会員の募集  
会員数 2, 276 人（令和 3 年度加入者数 61 人）  
メールマガジンの配信 月 1 回（第 4 木曜日）
- 「MIDETTE だより」の発行  
月 1 回「MIDETTE だより」を発行し、催事やキャンペーン等の案内を行うとともに、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

- 定住・二地域居住に関する情報発信や観光業務の充実  
 本県への定住・二地域居住を推進するため、首都圏からの移住に関する情報の発信や相談業務等を行うとともに、来館者に対し本県の観光案内を実施し誘客を図った。
  - ・ 定住・二地域居住、観光相談 146件

#### キ 新型コロナウイルス感染症対策

- 入館時のサーモグラフィーカメラ、手指消毒、定期的な換気、買い物カゴ等の消毒、行列の間隔の確保など感染防止対策を徹底するとともに、販売スタッフの健康管理（マスク着用、手洗い、うがい、毎日の検温）を徹底した。
- 感染症対策を徹底することで、「感染防止徹底宣言登録店舗」として東京都による認証を受けた。

### ③ 県産品流通促進事業

#### ア 物産展事業

本県の優良産品のPR及び販路拡大とともに、本県観光のPRを行い観光客の誘致促進を図るため、東北各県や全国の観光物産協会等と連携のもと、全国主要都市において観光物産展及び地下催事等を開催し、風評・風化対策に寄与するとともに、観光誘客を図った。

- ・ 開催回数 50回
- ・ 出展業者 延べ269社
- ・ 売上額（税抜） 158,122千円（前年度比 120.0%）

#### イ 卸売事業

単独では販売力の弱い事業者の販路開拓を支援し、県産品の流通促進・拡大を図るため、展示・商談会等で開拓した小売店等への積極的な営業活動を行うことにより、BtoB型（企業間取引）の卸売事業を行った。

- 販売先数 103先（前年度 73先）
- 納品先数 310先（前年度 244先）
- 販売商品メーカー数 215社（前年度 171社）
- 卸売額（税抜） 75,946千円（前年度 47,319千円）
- 商談会出展
  - ・ フードストアソリューションズフェア（R3.12/2-3 インテックス大阪）
  - ・ スーパーマーケットトレードショー（R4.2/16-18 幕張メッセ）
- BtoB専用のECサイトの開設  
 WEB上で商品を受注できる専用のECサイトを構築・開設した。

#### ウ 県産品ECサイト活用事業

コロナ禍により、新しい生活様式に根ざしたネット販売を活用した営業活動が求められていることから、令和3年9月に開店したオンラインストア「ふくふくマルシェ」の運営を通し、自身ではECサイトの運営が困難な事業者等の支援を行うとともに、消費者ニーズに応じた商品の充実などに取り組み、県産品の販売推進、販路拡大を図った。

- ・ 商品掲載数 283商品（令和4年3月31日現在）
- ・ 売上額（税抜） 3,380千円

## エ 県産品デジタルアーカイブス事業

新作の商品や工芸品等を紹介するために、協会のホームページに、清酒、工芸品、農産物、加工食品等の動画、静止画（写真）を掲載する「県産品アーカイブス」ページを作成し、利用者（事業者、消費者）がストレスなくワンストップでWEB上から瞬時に商品情報を収集できる仕組みにより、ふくしま県産品ファン獲得の場を創出した。

【掲載素材について】 [素材点数 300点]

- ・ 写真 8,718枚
- ・ 動画 835本
- ・ 音声 1,111本

## (3) 施設管理運営事業

### ① くろがね小屋運営事業

新型コロナウイルス感染症対策のため、前年度に引き続き宿泊者数の上限を半数に減らし（50人→25人）営業を行った。

売店売上の増を図るため新たなオリジナル商品（Tシャツ・マグカップ・温泉タオル）の販売を行うとともに、トイレ利用者に維持管理協力金（目安金額100円）の依頼を開始し、収入の増加を図った。また、二本松市観光連盟と共作した安達太良連邦トレッキングガイドの登山用品店への設置依頼、ホームページやSNSでの情報発信の強化等により誘客促進に努めた。

令和5年度以降に県による建替え工事が予定され、令和5年3月末で営業休止となることから、ホームページでの告知や登山雑誌への広告掲載、登山用品店への通知等により周知を図った。

- ・ 宿泊者数 3,023人（前年度比126.3%）
- ・ 売上額(税抜) 23,084千円（前年度比138.7%）

### ② 天鏡閣・迎賓館運営事業

#### ア 天鏡閣

国指定重要文化財天鏡閣の魅力を発信しながら、施設の活用や設備及び備品の管理運営を適切に実施した。

ホームページやInstagram等による積極的な情報発信を行うとともに、利用者のSNS投稿促進のため投稿した見学者へ割引クーポンを配布し、情報発信の強化を図った。また、各種イベントや、館内での漆芸、点描画などの美術作品展を開催し、誘客と利活用にも努めた。オンライン旅行商談会や教育旅行オンラインツアーセミナーへ参加し、団体客の誘客促進を図った。

- ・ 入館者数 13,254人（前年度比121.6%）
- ・ 入館料収入(税抜) 3,949千円（前年度比120.6%）

#### 【主なイベント】

- ・ 天鏡閣と迎賓館の春まつり  
令和3年5月3日～5日 入館者451名
- ・ 福島県民の日無料開放  
令和3年8月21日 入館者126名

- ・ 天鏡閣ライトアップハロウィンナイト  
令和3年10月30日・31日 入園者31名 入館者449名
- ・ 文化の日記念イベント  
令和3年11月3日 参加者15名 天鏡閣入館者167名

## イ 迎賓館

国指定重要文化財福島県迎賓館の施設、設備及び備品の管理運営を適切に実施した。通常非公開である建物内部を期間限定で特別公開し、貴重な文化財の魅力に触れる機会を提供した。

- ・ 迎賓館特別公開（事前予約制）  
期 間：5月1日～11月7日  
設定日数：110日（見学実施日数53日）  
入館者数：359名（前年度比98.9%）

## 2 天鏡閣軽食販売事業【収益事業】

館内ティールームで地元産ハーブティーとオリジナルスイーツをセットで提供した。

新たなオリジナル商品としてマントルピースのタイル柄のミラーや、県内産米粉を使用したバンズのコロッケバーガーなどの販売を開始した。

また、道の駅猪苗代でオリジナル商品の委託販売を開始し、販路の拡大を図った。

- ・ 売上額(税抜) 2,724千円（前年度比137.4%）

## 3 組織体制・財務体質の強化

### (1) 組織体制の強化

各事業についてPDCAサイクルにより適切に進行管理を行い、効率的・効果的な運営を図った。

労務管理の強化と働き方改革推進のため、関連法に対応した規定の整備や勤怠管理システムの導入を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修が減少したが、参加可能な研修等への積極的な参加、職員向け研修の開催等により業務知識の習得やスキルアップに努めた。

また、中長期的な視点のもと人材の確保・育成により組織運営体制の強化を図るため、施設売上や受託事業の収入により生じた剰余金について「人材育成積立資金」として積立を行った。

#### 【主な研修】

- ・ 接客マナー研修（協会主催）
- ・ 人材育成講座（デジタルマーケティング・ライティング・プレスリリース）（協会主催）
- ・ 東北観光推進機構フェニックス塾
- ・ 国内旅程管理研修
- ・ 酒類販売管理研修
- ・ 公益法人協会主催研修

### (2) 財務体質の強化

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、民間事業者の会費を免除した。また、新規会員の募集は見合わせた。

基本財産 7 億円について国債が満期償還となったことから、より有利かつ安全な金融商品を選定し新たな運用を開始した。

業務の安定的な遂行のため、将来の財源不足に備え剰余金の積立を行った。

【主な積立】

- ・ 公益目的事業財政安定化積立資金  
会費の免除、基本財産運用益の減少による財源不足へ備える積立
- ・ 県産品振興事業財政安定化積立資金  
受託料収入の減少による財源不足へ備える積立
- ・ 施設管理運営事業財政安定化積立資金  
くろがね小屋建替え中の収入減少による財源不足へ備える積立

## IV 評議員会・理事会関係

### 1 評議員会

- (1) **令和 3 年度第 1 回評議員会（決議の省略の方法） 令和 3 年 4 月 1 日**  
議案第 1 号 理事補欠選任の件
- (2) **令和 3 年度第 2 回評議員会（決議の省略の方法） 令和 3 年 6 月 2 8 日**  
議案第 1 号 令和 2 年度決算について  
議案第 2 号 任期満了に伴う評議員の選任について  
議案第 3 号 任期満了に伴う理事の選任について  
議案第 4 号 任期満了に伴う監事の選任について  
報告事項 (1) 令和 2 年度事業報告について  
報告事項 (2) 令和 3 年度事業計画・収支予算について

### 2 理事会

- (1) **令和 3 年度第 1 回理事会 令和 3 年 6 月 1 1 日**  
議案第 1 号 令和 2 年度事業報告について  
議案第 2 号 令和 2 年度決算について  
議案第 3 号 令和 3 年度第 2 回評議員会の招集について  
報告事項 業務執行理事の職務執行状況報告について
- (2) **令和 3 年度第 2 回理事会（決議の省略の方法） 令和 3 年 6 月 2 8 日**  
議案第 1 号 理事長選定の件  
議案第 2 号 副理事長選定の件  
議案第 3 号 常務理事選定の件
- (3) **令和 3 年度第 3 回理事会 令和 3 年 1 1 月 1 8 日**  
議案第 1 号 令和 3 年度事業計画の変更について  
議案第 2 号 令和 3 年度収支予算の変更について  
報告事項 (1) 令和 3 年度上半期事業実績及び今後の取組について  
報告事項 (2) 中期事業・運営計画について  
報告事項 (3) 業務執行理事の職務執行状況報告について
- (4) **令和 3 年度第 4 回理事会 令和 4 年 3 月 2 8 日**  
議案第 1 号 令和 3 年度収支予算の補正について  
議案第 2 号 特定費用準備資金及び資産取得資金について

議案第3号	第3期中期事業・運営計画について
議案第4号	令和4年度事業計画について
議案第5号	令和4年度収支予算について
議案第6号	令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて
議案第7号	令和4年度役員報酬について
議案第8号	令和4年度第1回評議員会の招集について
報告事項(1)	第2期中期事業・運営計画の実績等について
報告事項(2)	業務執行理事の職務執行状況報告について

## V 役員等の異動

### 1 評議員の異動

令和3年6月28日 退任 一ノ瀬 正一、井上 直美、大川 潤一郎、神山 修一、菅野 豊、渋川 恵男、菅原 由美子、満田 盛護  
(以上、任期満了)

令和3年6月28日 選任 響田 倉治、國分 守、小松 信之、新城 猪之吉、高瀬 淳、田崎 由子、吉田 樹、渡邊 和裕、渡部 正弘  
(以上、任期満了に伴う再任)  
有賀 義裕、金成 孝典、小井戸 英典、坂本 新輔、八木橋 彰、和田 雅孝  
(以上、新任)

令和4年3月31日 辞任 國分 守

### 2 理事の異動

令和3年4月 1日 選任 今野 一宏

令和3年6月28日 退任 工藤 毅(任期満了)

令和3年6月28日 選任 高荒 昌展、小口 憲太朗、中村 伸裕、今泉 仁寿、遠藤 淳一、今野 一宏、安田 清敏、横江 良司  
(以上、任期満了に伴う再任)

浜田 正隆(新任)

令和4年3月31日 辞任 高荒 昌展

### 3 監事の異動

令和3年6月28日 退任 藤田 哲郎(任期満了)

令和3年6月28日 選任 佐々木 一男(任期満了に伴う再任)

千葉 純久(新任)

## 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

# 貸借対照表（総合）

令和4年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当 期	前 期	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	8,025,805	8,877,484	△ 851,679
普通預金	1,453,334,165	375,355,145	1,077,979,020
売掛金	17,073,803	25,710,538	△ 8,636,735
信販未収金	18,073,208	17,605,595	467,613
未収金	79,053,784	77,510,490	1,543,294
商品	28,350,674	21,921,125	6,429,549
食事材料	346,019	619,647	△ 273,628
貯蔵品	593,993	564,232	29,761
前払費用	6,185,175	5,999,376	185,799
仮払金	139,178	0	139,178
貸倒引当金	△ 1,142,004	△ 1,208,261	66,257
流動資産合計	1,610,033,800	532,955,371	1,077,078,429
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券	814,989,511	905,335,951	△ 90,346,440
定期預金	100,000,000	10,000,000	90,000,000
普通預金	2,610,489	0	2,610,489
基本財産合計	917,600,000	915,335,951	2,264,049
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,886,194	22,886,194	0
運営強化積立預金	6,054,000	6,054,000	0
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	74,000,000	84,000,000	△ 10,000,000
人材育成積立資金	25,000,000	0	25,000,000
公益目的事業財政安定化積立資金	21,000,000	6,500,000	14,500,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	50,000,000	0	50,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	35,000,000	4,000,000	31,000,000
天鏡閣ホームページ改修資金	3,000,000	0	3,000,000
物産館・日本橋販売管理システム入替資金	40,000,000	10,000,000	30,000,000
物産館公用車購入資金	4,000,000	0	4,000,000
特定資産合計	280,940,194	133,440,194	147,500,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	169,488	339,993	△ 170,505
什器備品	1,665,988	2,807,851	△ 1,141,863
ソフトウェア	1,186,434	539,234	647,200
電話加入権	298,552	298,552	0
敷金	2,262,000	2,257,240	4,760
保証金	2,510,000	2,510,000	0
出資金	50,000	50,000	0
預託金	13,710	13,710	0
その他固定資産合計	8,156,172	8,816,580	△ 660,408
固定資産合計	1,206,696,366	1,057,592,725	149,103,641
<b>資産合計</b>	2,816,730,166	1,590,548,096	1,226,182,070
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
買掛金	107,682,781	90,543,479	17,139,302
未払金	100,000	1,128,610	△ 1,028,610
未払費用	927,429,691	212,563,798	714,865,893
未払消費税等	7,834,500	33,537,531	△ 25,703,031
前受金	362,980,500	18,563,740	344,416,760
預り金	4,631,860	4,715,205	△ 83,345
仮受金	6,608,484	19,224,835	△ 12,616,351
未払法人税等	242,000	242,000	0
賞与引当金	18,194,652	0	18,194,652
流動負債合計	1,435,704,468	380,519,198	1,055,185,270
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	20,819,222	20,819,222	0
固定負債合計	20,819,222	20,819,222	0
<b>負債合計</b>	1,456,523,690	401,338,420	1,055,185,270



(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	2,066,972	2,066,972	0
寄付金	917,600,000	917,600,000	0
基本財産運用益差額	0	△ 2,264,049	2,264,049
指定正味財産合計	919,666,972	917,402,923	2,264,049
(うち基本財産への充当額)	(917,600,000)	(915,335,951)	(2,264,049)
(うち特定資産への充当額)	(2,066,972)	(2,066,972)	(0)
2. 一般正味財産	440,539,504	271,806,753	168,732,751
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(258,054,000)	(110,554,000)	(147,500,000)
正味財産合計	1,360,206,476	1,189,209,676	170,996,800
負債及び正味財産合計	2,816,730,166	1,590,548,096	1,226,182,070

貸借対照表内訳表  
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計				天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館					
<b>I 資産の部</b>												
1. 流動資産												
現金	0	4,143,612	2,251,962	0	0	1,458,000	117,988	7,971,562	54,243	0	0	8,025,805
普通預金	1,256,999,753	90,199,088	56,765,564	19,843,207	9,108,492	3,336,285	3,607,149	1,439,859,538	3,932,890	9,541,737	0	1,453,334,165
売掛金	0	5,836,239	4,764,819	0	6,466,455	0	6,290	17,073,803	0	0	0	17,073,803
信販未収金	0	11,944,832	6,127,395	0	0	0	0	18,072,227	981	0	0	18,073,208
未収金	77,479,535	1,059,486	4,395	271,168	193,300	45,900	0	79,053,784	0	0	0	79,053,784
商品	0	15,463,540	10,727,644	0	200,574	1,047,966	0	27,439,724	910,950	0	0	28,350,674
食事材料	0	0	0	0	0	346,019	0	346,019	0	0	0	346,019
貯蔵品	0	0	0	0	0	427,902	166,091	593,993	0	0	0	593,993
前払費用	112,060	0	5,545,670	235,815	9,900	62,250	38,080	6,003,775	0	181,400	0	6,185,175
仮払金	80,000	0	0	0	0	0	0	80,000	0	59,178	0	139,178
貸倒引当金	△ 774,795	△ 188,405	△ 108,966	△ 2,711	△ 66,597	△ 459	△ 62	△ 1,141,995	△ 9	0	0	△ 1,142,004
他会計貸付金	91,650,000	0	5,851,068	35,830,497	0	0	0	133,331,565	0	15,927,198	△ 149,258,763	0
流動資産合計	1,425,546,553	128,458,392	91,929,551	56,177,976	15,912,124	6,723,863	3,935,536	1,728,683,995	4,899,055	25,709,513	△ 149,258,763	1,610,033,800
2. 固定資産												
(1) 基本財産												
投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	814,989,511	0	814,989,511
定期預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000,000	0	100,000,000
普通預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,610,489	0	2,610,489
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
(2) 特定資産												
退職給付引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,886,194	0	22,886,194
運営強化積立預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,054,000	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	0	0	74,000,000	0	0	0	0	74,000,000	0	0	0	74,000,000
人材育成積立資金	25,000,000	0	0	0	0	0	0	25,000,000	0	0	0	25,000,000
公益目的事業財政安定化積立資金	21,000,000	0	0	0	0	0	0	21,000,000	0	0	0	21,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	50,000,000	0	0	50,000,000	0	0	0	50,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	0	35,000,000	0	35,000,000	0	0	0	35,000,000
天鏡閣ホームページ改修資金	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000	0	0	0	3,000,000
物産館・日本橋販売管理システム入替資金	0	40,000,000	0	0	0	0	0	40,000,000	0	0	0	40,000,000
物産館公用車購入資金	0	4,000,000	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000
特定資産合計	46,000,000	44,000,000	74,000,000	0	50,000,000	35,000,000	3,000,000	252,000,000	0	28,940,194	0	280,940,194
(3) その他固定資産												
車両運搬具	0	166,208	0	0	0	1	3,279	169,488	0	0	0	169,488
什器備品	2	1,532,798	0	0	76,398	12,193	0	1,621,391	0	44,597	0	1,665,988
ソフトウェア	0	196,434	0	0	0	0	0	196,434	0	990,000	0	1,186,434
電話加入権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298,552	0	298,552
敷金	22,000	0	2,240,000	0	0	0	0	2,262,000	0	0	0	2,262,000
保証金	2,510,000	0	0	0	0	0	0	2,510,000	0	0	0	2,510,000
出資金	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	50,000
預託金	0	10,360	0	0	0	3,350	0	13,710	0	0	0	13,710
その他固定資産合計	2,582,002	1,905,800	2,240,000	0	76,398	15,544	3,279	6,823,023	0	1,333,149	0	8,156,172
固定資産合計	48,582,002	45,905,800	76,240,000	0	50,076,398	35,015,544	3,003,279	258,823,023	0	947,873,343	0	1,206,696,366
資産合計	1,474,128,555	174,364,192	168,169,551	56,177,976	65,988,522	41,739,407	6,938,815	1,987,507,018	4,899,055	973,582,856	△ 149,258,763	2,816,730,166
<b>II 負債の部</b>												
1. 流動負債												
買掛金	0	64,561,393	26,497,362	0	16,594,807	0	0	107,653,562	29,219	0	0	107,682,781
未払金	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	0	100,000
未払費用	893,280,939	9,330,502	7,058,915	374,381	12,885,896	954,590	2,517,585	926,402,808	0	1,026,883	0	927,429,691
未払消費税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,834,500	0	7,834,500
前受金	362,980,500	0	0	0	0	0	0	362,980,500	0	0	0	362,980,500
預り金	1,197,918	808,346	881,405	106,959	478,738	180,251	196,175	3,849,792	0	782,068	0	4,631,860
仮受金	0	872,966	206,110	5,529,168	0	0	240	6,608,484	0	0	0	6,608,484
未払法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	0	242,000
賞与引当金	3,984,099	0	0	0	9,984,762	509,982	885,381	15,364,224	0	2,830,428	0	18,194,652
他会計借入金	0	7,463,990	0	0	54,442,868	44,445,744	7,616,228	113,968,830	35,289,933	0	△ 149,258,763	0
流動負債合計	1,261,443,456	83,037,197	34,743,792	6,010,508	94,387,071	46,090,567	11,215,609	1,536,928,200	35,319,152	12,715,879	△ 149,258,763	1,435,704,468
2. 固定負債												
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,819,222	0	20,819,222
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,819,222	0	20,819,222
負債合計	1,261,443,456	83,037,197	34,743,792	6,010,508	94,387,071	46,090,567	11,215,609	1,536,928,200	35,319,152	33,535,101	△ 149,258,763	1,456,523,690
<b>III 正味財産の部</b>												
1. 指定正味財産												
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,066,972	0	2,066,972
寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	919,666,972	0	919,666,972
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(917,600,000)	(0)	(917,600,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2,066,972)	(0)	(2,066,972)
2. 一般正味財産	212,685,099	91,326,995	133,425,759	50,167,468	△ 28,398,549	△ 4,351,160	△ 4,276,794	450,578,818	△ 30,420,097	20,380,783	0	440,539,504
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(46,000,000)	(44,000,000)	(74,000,000)	(0)	(50,000,000)	(35,000,000)	(3,000,000)	(252,000,000)	(0)	(6,054,000)	(0)	(258,054,000)
正味財産合計	212,685,099	91,326,995	133,425,759	50,167,468	△ 28,398,549	△ 4,351,160	△ 4,276,794	450,578,818	△ 30,420,097	940,047,755	0	1,360,206,476
負債及び正味財産合計	1,474,128,555	174,364,192	168,169,551	56,177,976	65,988,522	41,739,407	6,938,815	1,987,507,018	4,899,055	973,582,856	△ 149,258,763	2,816,730,166

## 正味財産増減計算書（総合）

令和3年 4月 1日 から 令和4年 3月31日 まで

（単位：円）

科目	当 期	前 期	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	8,022,012	11,022,602	△ 3,000,590
基本財産運用益計	8,022,012	11,022,602	△ 3,000,590
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,907	7,860	△ 5,953
特定資産運用益計	1,907	7,860	△ 5,953
受取会費			
正会員受取会費	4,219,000	4,093,000	126,000
受取会費計	4,219,000	4,093,000	126,000
事業収益			
受取受託料収入	4,894,666,815	1,812,083,505	3,082,583,310
受取物産品売上高	1,206,329,405	1,106,247,387	100,082,018
受取手数料収入	9,672,250	16,210,923	△ 6,538,673
負担金収入	947,957	6,946,588	△ 5,998,631
使用料収入	16,387,994	12,754,338	3,633,656
食事料収入	5,516,727	4,080,000	1,436,727
旅行売上高	26,655,606	10,055,420	16,600,186
受取雑収入	3,216,791	2,931,423	285,368
値引・戻り高	18,760,672	15,052,554	3,708,118
事業収益計	6,144,632,873	2,956,257,030	3,188,375,843
受取補助金等			
受取補助金	1,942,904,246	88,694,000	1,854,210,246
受取補助金等計	1,942,904,246	88,694,000	1,854,210,246
雑収益			
受取利息	1,435	1,087	348
その他雑収益	5,274,536	24,177,670	△ 18,903,134
雑収益計	5,275,971	24,178,757	△ 18,902,786
経常収益計	8,105,056,009	3,084,253,249	5,020,802,760
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	22,540,772	16,805,213	5,735,559
物産品仕入高	944,027,730	848,142,106	95,885,624
物産品廃棄損等	4,561,934	6,185,768	△ 1,623,834
食事材料仕入高	1,332,450	1,581,491	△ 249,041
旅行仕入高	25,585,464	11,914,709	13,670,755
期末たな卸高	28,696,693	22,540,772	6,155,921
給料手当	230,544,872	236,536,082	△ 5,991,210
諸謝金	6,221,126	2,725,317	3,495,809
賃金	78,686,605	73,717,729	4,968,876
退職給付費用	100,000	1,128,610	△ 1,028,610
福利厚生費	51,171,519	51,890,999	△ 719,480
退職金共済掛金	2,761,098	3,013,617	△ 252,519
賞与引当金繰入	15,364,224	0	15,364,224
旅費交通費	6,311,784	5,458,127	853,657
通信運搬費	4,741,076	5,924,487	△ 1,183,411
減価償却費	1,732,384	2,026,570	△ 294,186
消耗品費	12,893,028	22,120,748	△ 9,227,720
修繕費	3,657,360	2,526,349	1,131,011

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
印刷製本費	17,447,219	17,831,379	△ 384,160
燃料費	2,133,684	1,843,068	290,616
光熱水料費	16,914,053	15,270,645	1,643,408
賃借料	86,690,768	81,897,332	4,793,436
支払手数料	21,787,024	24,004,946	△ 2,217,922
広告宣伝費	28,186,907	39,210,961	△ 11,024,054
租税公課	2,076,271	1,573,527	502,744
支払負担金	5,945,944	18,323,142	△ 12,377,198
支払助成金	5,664,407,088	1,271,603,883	4,392,803,205
支払寄付金	50,000	0	50,000
委託費	659,579,879	190,912,643	468,667,236
保険料	1,607,380	1,389,688	217,692
受託設備費	5,554,000	1,985,340	3,568,660
包装資材費	9,727,770	10,571,386	△ 843,616
交際費	81,206	74,334	6,872
会議費	148,759	116,863	31,896
食糧費	27,376	84,189	△ 56,813
運賃	6,725,923	8,719,700	△ 1,993,777
従業員食事材料費	125,682	157,500	△ 31,818
研修費	698,058	641,598	56,460
雑損失	9,683	41,120	△ 31,437
貸倒引当金繰入	340,456	1,208,261	△ 867,805
雑費	428,775	450,758	△ 21,983
事業費計	7,914,230,638	2,957,069,413	4,957,161,225
管理費			
役員報酬	12,341,000	12,121,925	219,075
給料手当	3,269,936	3,237,926	32,010
福利厚生費	1,114,059	1,092,429	21,630
退職金共済掛金	148,382	148,383	△ 1
賞与引当金繰入	2,004,713	0	2,004,713
役員賞与引当金繰入	825,715	0	825,715
交際費	20,000	0	20,000
旅費交通費	111,542	84,006	27,536
通信運搬費	106,796	111,297	△ 4,501
減価償却費	32,784	2,349	30,435
消耗品費	62,154	51,707	10,447
修繕費	8,376	6,554	1,822
印刷製本費	5,429	10,551	△ 5,122
燃料費	12,927	5,344	7,583
光熱水料費	26,691	24,978	1,713
賃借料	298,329	75,719	222,610
広告宣伝費	2,793	9,558	△ 6,765
租税公課	111,963	97,970	13,993
支払負担金	1,016	5,462	△ 4,446
支払寄付金	10,000	20,000	△ 10,000
支払手数料	18,094	27,183	△ 9,089
運賃	5,713	4,900	813
研修費	8,200	33,200	△ 25,000
委託費	21,097	13,092	8,005
雑費	25,575	0	25,575
管理費計	20,593,284	17,184,533	3,408,751
経常費用計	7,934,823,922	2,974,253,946	4,960,569,976
評価損益等調整前当期経常増減額	170,232,087	109,999,303	60,232,784
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	170,232,087	109,999,303	60,232,784

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入	406,713	663,898	△ 257,185
過年度損益修正益	600,000	0	600,000
過年度雑収益	0	2,640,000	△ 2,640,000
経常外収益計	1,006,713	3,303,898	△ 2,297,185
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	0	2	△ 2
固定資産除却損計	0	2	△ 2
その他の経常外費用			
過年度損益修正損	2,264,049	0	2,264,049
その他の経常外費用計	2,264,049	0	2,264,049
経常外費用計	2,264,049	2	2,264,047
当期経常外増減額	△ 1,257,336	3,303,896	△ 4,561,232
税引前当期一般正味財産増減額	168,974,751	113,303,199	55,671,552
法人税、住民税及び事業税	242,000	242,000	0
当期一般正味財産増減額	168,732,751	113,061,199	55,671,552
一般正味財産期首残高	271,806,753	158,745,554	113,061,199
一般正味財産期末残高	440,539,504	271,806,753	168,732,751
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	8,022,012	10,702,420	△ 2,680,408
基本財産運用益計	8,022,012	10,702,420	△ 2,680,408
特定資産運用益			
特定資産受取利息	206	207	△ 1
特定資産運用益計	206	207	△ 1
一般正味財産への振替額	5,758,169	11,022,809	△ 5,264,640
当期指定正味財産増減額	2,264,049	△ 320,182	2,584,231
指定正味財産期首残高	917,402,923	917,723,105	△ 320,182
指定正味財産期末残高	919,666,972	917,402,923	2,264,049
III 正味財産期末残高	1,360,206,476	1,189,209,676	170,996,800

**正味財産増減計算書内訳表**  
令和3年 4月 1日 から 令和4年 3月31日 まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計							小計	収益事業会計 天鏡閣売店	法人会計	合計
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計					
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館				
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益											
基本財産受取利息	2,005,503	0	0	0	2,005,503	0	0	4,011,006	0	4,011,006	8,022,012
基本財産運用益計	2,005,503	0	0	0	2,005,503	0	0	4,011,006	0	4,011,006	8,022,012
特定資産運用益											
特定資産受取利息	0	0	1,278	0	0	0	0	1,278	0	629	1,907
特定資産運用益計	0	0	1,278	0	0	0	0	1,278	0	629	1,907
受取会費											
正会員受取会費	0	0	0	2,109,500	0	0	0	2,109,500	0	2,109,500	4,219,000
受取会費計	0	0	0	2,109,500	0	0	0	2,109,500	0	2,109,500	4,219,000
事業収益											
受取受託料収入	4,687,006,673	35,282,663	106,307,367	0	47,984,433	0	18,085,679	4,894,666,815	0	0	4,894,666,815
受取物産品売上高	0	775,069,913	344,623,205	0	79,326,242	4,930,034	0	1,203,949,394	2,380,011	0	1,206,329,405
受取手数料収入	1,235,885	52,553	0	8,383,812	0	0	0	9,672,250	0	0	9,672,250
負担金収入	0	0	0	947,957	0	0	0	947,957	0	0	947,957
使用料収入	0	0	0	0	0	12,438,950	3,949,044	16,387,994	0	0	16,387,994
食事料収入	0	0	0	0	0	5,516,727	0	5,516,727	0	0	5,516,727
旅行売上高	26,655,606	0	0	0	0	0	0	26,655,606	0	0	26,655,606
受取雑収入	0	2,585,252	84,687	4,710	0	198,000	0	2,872,649	344,142	0	3,216,791
値引・戻り高	0	15,544,342	3,216,330	0	0	0	0	18,760,672	0	0	18,760,672
事業収益計	4,714,898,164	797,446,039	447,798,929	9,336,479	127,310,675	23,083,711	22,034,723	6,141,908,720	2,724,153	0	6,144,632,873
受取補助金等											
受取補助金	1,912,696,654	100,710	73,814	25,223	11,626,645	359,187	3,428,767	1,928,311,000	0	14,593,246	1,942,904,246
受取補助金等計	1,912,696,654	100,710	73,814	25,223	11,626,645	359,187	3,428,767	1,928,311,000	0	14,593,246	1,942,904,246
雑収益											
受取利息	58	463	717	31	24	88	17	1,398	23	14	1,435
その他雑収益	52,182	278,637	3,608,880	145,150	1,041,278	125,882	0	5,251,809	0	22,727	5,274,536
雑収益計	52,240	279,100	3,609,597	145,181	1,041,302	125,770	17	5,253,207	23	22,741	5,275,971
経常収益計	6,629,652,561	797,825,849	451,483,618	11,616,383	141,984,125	23,568,668	25,463,507	8,081,594,711	2,724,176	20,737,122	8,105,056,009
(2) 経常費用											
事業費											
期首たな卸高	0	11,009,983	9,134,076	0	0	1,734,788	0	21,878,847	661,925	0	22,540,772
物産品仕入高	0	606,813,805	260,901,100	0	72,231,572	2,473,386	0	942,419,863	1,607,867	0	944,027,730
物産品廃棄損等	0	2,603,038	1,884,612	0	0	38,570	0	4,526,220	35,714	0	4,561,934
食事材料仕入高	0	0	0	0	0	1,332,450	0	1,332,450	0	0	1,332,450
旅行仕入高	25,585,464	0	0	0	0	0	0	25,585,464	0	0	25,585,464
期末たな卸高	0	15,463,540	10,727,644	0	200,574	1,393,985	0	27,785,743	910,950	0	28,696,693
給料手当	85,378,258	43,210,924	44,459,580	7,430,802	25,983,875	11,694,592	12,386,841	230,544,872	0	0	230,544,872
諸謝金	5,554,181	0	229,890	0	0	0	437,055	6,221,126	0	0	6,221,126
賃金	0	37,884,879	34,003,430	2,827,263	0	2,072,030	1,419,999	78,207,601	479,004	0	78,686,605
退職給付費用	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	100,000
福利厚生費	13,600,018	13,464,024	13,628,091	1,813,570	4,443,015	1,967,603	2,253,751	51,170,072	1,447	0	51,171,519
退職金共済掛金	566,150	806,281	89,530	203,401	684,063	199,471	212,202	2,761,098	0	0	2,761,098
賞与引当金繰入	3,984,099	0	0	0	9,984,762	509,982	885,381	15,364,224	0	0	15,364,224
旅費交通費	2,976,851	510,466	667,267	1,140,516	916,637	41,819	58,228	6,311,784	0	0	6,311,784
通信運搬費	1,355,736	1,454,307	690,971	175,124	228,661	518,833	317,444	4,741,076	0	0	4,741,076
減価償却費	25,710	1,576,022	14,799	5,057	83,605	18,847	8,344	1,732,384	0	0	1,732,384
消耗品費	4,517,432	2,506,070	3,501,495	66,411	836,943	864,220	479,529	12,772,100	120,928	0	12,893,028
修繕費	268,347	572,077	2,113,371	1,292	1,842	57,682	642,749	3,657,360	0	0	3,657,360
印刷製本費	14,736,916	1,630,889	557,578	9,019	59,998	233,228	219,591	17,447,219	0	0	17,447,219
燃料費	440,814	295,991	765	16,247	45,432	1,002,520	314,765	2,116,534	17,150	0	2,133,684
光熱水料費	452,692	7,183,976	6,997,027	5,072	13,934	5,358	2,255,994	16,914,053	0	0	16,914,053
賃借料	10,606,317	13,749,048	61,032,115	90,130	673,147	140,685	399,326	86,690,768	0	0	86,690,768
支払手数料	4,937,389	7,762,365	8,047,690	25,561	575,808	151,496	129,436	21,629,745	157,279	0	21,787,024
広告宣伝費	1,075,600	18,488,252	3,432,892	126,520	4,668,249	219,859	175,535	28,186,907	0	0	28,186,907
租税公課	1,707,561	122,363	114,800	803	93,344	6,000	31,400	2,076,271	0	0	2,076,271
支払負担金	4,288,055	25,352	118,557	50,157	913,462	490,204	60,157	5,945,944	0	0	5,945,944
支払助成金	5,663,437,879	0	763,709	0	205,500	0	0	5,664,407,088	0	0	5,664,407,088
支払寄付金	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
委託費	617,946,448	5,082,970	16,719,435	35,529	12,345,949	746,741	6,702,807	659,579,879	0	0	659,579,879
保険料	967,610	355,490	107,610	0	0	79,600	92,070	1,602,380	5,000	0	1,607,380
受託設備費	0	0	0	0	5,554,000	0	0	5,554,000	0	0	5,554,000
包装資材費	0	6,936,100	2,778,235	0	4,580	0	0	9,718,915	8,855	0	9,727,770
交際費	19,823	0	37,122	15,526	2,000	6,735	0	81,206	0	0	81,206
会議費	126,941	21,818	0	0	0	0	0	148,759	0	0	148,759
食糧費	0	0	0	0	0	0	27,376	27,376	0	0	27,376
運賃	1,598,766	79,525	3,547,637	254,179	1,156,786	79,220	4,360	6,720,473	5,450	0	6,725,923
従業員食事材料費	0	0	0	0	0	125,682	0	125,682	0	0	125,682
研修費	186,096	305,099	196,636	0	0	10,227	0	698,058	0	0	698,058
雑損失	0	5,863	2,620	1,200	0	0	0	9,683	0	0	9,683
貸倒引当金繰入	166,826	0	108,966	0	64,664	0	0	340,456	0	0	340,456
雑費	147,008	73,332	74,427	14,189	119,819	0	0	428,775	0	0	428,775
事業費計	6,466,704,987	769,066,769	465,328,389	14,307,568	141,691,073	25,427,843	29,514,340	7,912,040,969	2,189,669	0	7,914,230,638

科目	公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	合計
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計				
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館			
管理費										
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,341,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,269,936
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,114,059
退職金共済掛金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148,382
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,004,713
役員賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	825,715
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111,542
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106,796
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,784
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,154
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,376
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,429
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,927
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,691
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298,329
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,793
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111,963
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,016
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,094
運賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,713
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,200
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,097
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,575
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,593,284
経常費用計	6,466,704,987	769,066,769	465,328,389	14,307,568	141,691,073	25,427,843	29,514,340	7,912,040,969	2,189,669	20,593,284
評価損益等調整前当期経常増減額	162,947,574	28,759,080	△ 13,844,771	△ 2,691,185	293,052	△ 1,859,175	△ 4,050,833	169,553,742	534,507	143,838
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	162,947,574	28,759,080	△ 13,844,771	△ 2,691,185	293,052	△ 1,859,175	△ 4,050,833	169,553,742	534,507	143,838
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
貸倒引当金戻入	0	28,216	217,425	14,362	8,898	118,044	19,722	406,667	46	0
過年度損益修正益	600,000	0	0	0	0	0	0	600,000	0	0
経常外収益計	600,000	28,216	217,425	14,362	8,898	118,044	19,722	1,006,667	46	0
(2) 経常外費用										
過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,264,049
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,264,049
当期経常外増減額	600,000	28,216	217,425	14,362	8,898	118,044	19,722	1,006,667	46	△ 2,264,049
他会計振替前当期一般正味財産増減額	163,547,574	28,787,296	△ 13,627,346	△ 2,676,823	301,950	△ 1,741,131	△ 4,031,111	170,560,409	534,553	△ 2,120,211
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	264,429	△ 264,429	0
税引前当期一般正味財産増減額	163,547,574	28,787,296	△ 13,627,346	△ 2,676,823	301,950	△ 1,741,131	△ 3,766,682	170,824,838	270,124	△ 2,120,211
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000
当期一般正味財産増減額	163,547,574	28,787,296	△ 13,627,346	△ 2,676,823	301,950	△ 1,741,131	△ 3,766,682	170,824,838	270,124	△ 2,362,211
一般正味財産期首残高	49,137,525	62,539,699	147,053,105	52,844,291	△ 28,700,499	△ 2,610,029	△ 510,112	279,753,980	△ 30,690,221	22,742,994
一般正味財産期末残高	212,685,099	91,326,995	133,425,759	50,167,468	△ 28,398,549	△ 4,351,160	△ 4,276,794	450,578,818	△ 30,420,097	20,380,783
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,022,012
基本財産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,022,012
特定資産運用益										
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,758,169
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,264,049
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,402,923
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	919,666,972
III 正味財産期末残高	212,685,099	91,326,995	133,425,759	50,167,468	△ 28,398,549	△ 4,351,160	△ 4,276,794	450,578,818	△ 30,420,097	940,047,755

## 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当該事業年度末日において、継続組織の前提に関する疑義は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法または旧定率法によっている。

ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法によっている。

②無形固定資産

定額法（残価0円）によっている。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上している。

②賞与引当金

役員及び職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

従来、賞与については支払いの都度会計処理を行っていたが、当事業年度より発生主義に変更し、引当金を計上することとした。

③退職給与引当金

平成18年4月1日より職員就業規則を改定し、独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入している。

改定前の規則に基づく退職金については、自己都合による要支給額を引当金計上している。

(5) リース資産

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	905,335,951	609,860,916	700,207,356	814,989,511
定期預金	10,000,000	100,000,000	10,000,000	100,000,000
普通預金	0	712,203,651	709,593,162	2,610,489
小計	915,335,951	1,422,064,567	1,419,800,518	917,600,000
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	22,886,194	0	0	22,886,194
運営強化積立預金	6,054,000	0	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	84,000,000	10,000,000	20,000,000	74,000,000
人材育成積立資金	0	25,000,000	0	25,000,000
公益目的事業財政安定化積立資金	6,500,000	21,000,000	6,500,000	21,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	0	50,000,000	0	50,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	4,000,000	35,000,000	4,000,000	35,000,000
天鏡閣ホームページ改修資金	0	3,000,000	0	3,000,000
観光物産館・日本橋ふくしま館販売管理システム入替資金	10,000,000	30,000,000	0	40,000,000
物産館公用車購入資金	0	4,000,000	0	4,000,000
小計	133,440,194	178,000,000	30,500,000	280,940,194
合計	1,048,776,145	1,600,064,567	1,450,300,518	1,198,540,194



4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	814,989,511	(814,989,511)	( 0)	—
定期預金	100,000,000	(100,000,000)	( 0)	—
普通預金	2,610,489	(2,610,489)	( 0)	—
小計	917,600,000	(917,600,000)	( 0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	22,886,194	(2,066,972)	( 0)	(20,819,222)
運営強化積立預金	6,054,000	( 0)	(6,054,000)	—
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	74,000,000	( 0)	(74,000,000)	—
人材育成積立資金	25,000,000	( 0)	(25,000,000)	—
公益目的事業財政安定化積立資金	21,000,000	( 0)	(21,000,000)	—
県産品振興事業財政安定化積立資金	50,000,000	( 0)	(50,000,000)	—
施設管理運営事業財政安定化積立資金	35,000,000	( 0)	(35,000,000)	—
天鏡閣ホームページ改修資金	3,000,000	( 0)	(3,000,000)	—
観光物産館・日本橋ふくしま館販売管理システム入替資金	40,000,000	( 0)	(40,000,000)	—
物産館公用車購入資金	4,000,000	( 0)	(4,000,000)	—
小計	280,940,194	(2,066,972)	(258,054,000)	(20,819,222)
合計	1,198,540,194	(919,666,972)	(258,054,000)	(20,819,222)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

勘定科目名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	530,000	530,000	0
建物付属設備	196,000	196,000	0
車両運搬具	3,090,215	2,920,727	169,488
什器備品	21,350,561	19,684,573	1,665,988
ソフトウェア	6,575,104	5,388,670	1,186,434
合計	31,741,880	28,719,970	3,021,910

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第120回利付国債	205,396,349	236,933,880	31,537,531
第157回利付国債	99,724,339	96,910,000	△ 2,814,339
第178回利付国債	9,964,658	9,665,000	△ 299,658
令和3年度第4回福岡県公募公債	100,000,000	98,760,000	△ 1,240,000
令和3年度第1回福島県公募公債	200,000,000	197,200,000	△ 2,800,000
第172回日本高速道路保有・債務返済機構債券	99,904,165	96,540,000	△ 3,364,165
第277回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	96,370,000	△ 3,630,000
合計	814,989,511	832,378,880	17,389,369

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和3年度(公財)事業等補助金	福島県	0	47,407,000	47,407,000	0	一般正味財産
ふくしまDMO推進プロジェクト外事業補助金	福島県	0	29,006,719	29,006,719	0	一般正味財産
宿泊事業者感染防止対策等緊急支援事業補助金	福島県	0	1,866,164,171	1,866,164,171	0	一般正味財産
宿泊事業者感染防止対策等補助金(くろがね小屋)	福島県	0	326,356	326,356	0	一般正味財産
福島県観光物産振興事業等補助金(退職金)	福島県	2,066,972	0	0	2,066,972	指定正味財産
合計		2,066,972	1,942,904,246	1,942,904,246	2,066,972	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	5,757,963
特定資産受取利息	206
合計	5,758,169

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため省略。

### 2. 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	1,208,261	340,456	0	406,713	1,142,004
賞与引当金	0	18,194,652	0	0	18,194,652
退職給付引当金	20,819,222	0	0	0	20,819,222

※ 貸倒引当金の当期減少額「その他」は、期末洗替えによる戻入額である。

財産目録  
令和4年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	8,025,805
	普通預金	東邦銀行 県庁支店 他	〃	1,453,334,165
	売掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代 他	17,073,803
	信販未収金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代のクレジット等利用分	18,073,208
	未収金	福島県 他	県委託事業に係る受託料未収分 他	79,053,784
	商品	観光物産館 他	棚卸資産	28,350,674
	食事材料	くろがね小屋	〃	346,019
	貯蔵品	くろがね小屋 他	〃	593,993
	前払費用	日本橋ふくしま館 他	4月分家賃 他	6,185,175
	仮払金	みずほ証券 他	債券購入時の経過利息 他	139,178
	貸倒引当金	—	貸倒に備えた引当金	△ 1,142,004
流動資産合計				1,610,033,800
(固定資産)	基本財産			
	投資有価証券	東邦銀行 県庁支店 他	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	814,989,511
	定期預金	大和ネクスト銀行	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	100,000,000
	普通預金	東邦銀行 県庁支店	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	2,610,489
				917,600,000
	特定資産			
	退職給付引当預金	東邦銀行 西福島支店 他	職員の退職給付支出に備えた積立	22,886,194
	運営強化積立預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を法人会計の財源として使用	6,054,000
	日本橋ふくしま館財政調整積立資金	東邦銀行 県庁支店 他	日本橋ふくしま館の管理運営のための積立	74,000,000
	人材育成積立資金	東邦銀行 県庁支店	人材育成のための積立	25,000,000
	公益目的事業財政安定化積立資金	東邦銀行 県庁支店	公益目的事業のための積立	21,000,000
	県産品振興事業財政安定化積立資金	東邦銀行 県庁支店	県産品振興事業のための積立	50,000,000
	施設管理運営事業財政安定化積立資金	東邦銀行 西福島支店	くろがね小屋・天鏡閣の管理運営のための積立	35,000,000
	天鏡閣ホームページ改修資金	東邦銀行 西福島支店	天鏡閣のホームページ改修のための積立	3,000,000
	物産館・日本橋販売管理システム入替資金	東邦銀行 西福島支店	販売管理システム入替のための積立	40,000,000
	物産館公用車購入資金	東邦銀行 西福島支店	公用車購入のための積立	4,000,000
				280,940,194
	その他固定資産			
	車両運搬具	公用車 他	事業に要する車両等	169,488
	什器備品	POSターミナル 他	事業に要する備品等	1,665,988
	ソフトウェア	売掛管理システム 他	事業に要するシステム等	1,186,434
	電話加入権	協会事務所	電話加入権利	298,552
	敷金	都圏不動産(株) 他	倉庫敷金等	2,262,000
	保証金	全国旅行業協会 他	旅行事業に係る弁済業務保証金分担金 他	2,510,000
	出資金	福島県旅行業協同組合	旅行事業に係る組合出資金	50,000
	預託金	自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクル預託金	13,710
				8,156,172
固定資産合計				1,206,696,366
資産合計				2,816,730,166
(流動負債)	買掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品仕入代等	107,682,781
	未払金	日本橋ふくしま館	職員退職金	100,000
	未払費用	(株)ナイトレイ 他	公益事業等に係る支払経費等	927,429,691
	未払消費税等	—	決算において確定した未払消費税	7,834,500
	前受金	福島県	令和4年度分受託料	362,980,500
	預り金	源泉所得税 他	源泉所得税等の預り金	4,631,860
	仮受金	物産展等出展業者 他	物産展等出展業者未精算売上金 他	6,608,484
	未払法人税等	—	決算において確定した未払法人税	242,000
	賞与引当金	—	役職員の賞与に係る引当金	18,194,652
流動負債合計				1,435,704,468
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員の退職金に係る引当金	20,819,222
固定負債合計				20,819,222
負債合計				1,456,523,690
正味財産				1,360,206,476